

13 期 関西ぶらり散策 10月15日(水) 担当4班

～高槻芥川宿・JT 生命誌研究館・西国街道・安満遺跡公園～

案内人：高槻観光ボランティアガイド

〔行程〕 JR 高槻駅 出発 9:50 ⇒ 関西将棋会館 ⇒ 芥川宿 ⇒ JT 生命誌研究館 ⇒ 脇本陣(西国街道) ⇒ 安満遺跡公園入口 解散 12:10

○関西将棋会館



高槻市に所在する日本将棋連盟の施設

大阪市福島区から 2024(R6)年 12月3日に移転オープン

○芥川宿

西国街道(京都と西宮を結ぶ約 64km の道)の宿場町として栄えた。芥川一里塚付近から西へ芥川に架かる芥川橋までの約 400mの通りを指す。江戸時代には本陣や旅籠屋などが設けられ、西国大名の参勤交代で往来する武士や旅人で大いに賑わった。19 世紀後半の天保期には旅籠屋が 33 軒、家屋数も 253 軒を数えた。

○芥川一里塚

一里塚とは主要な街道の一里(約 4km)毎に塚を築いてエノキを植えて路程の目印とした(市内に残る一里塚はここのみで、府の史跡に指定)。

↑北方向



↑ 芥川橋

↑ 瓦吹きの本陣

↑ 一里塚



OJT 生命誌研究館

今、地球上に生きている生物は、全て **38 億年前**に生まれた最初の生命体を祖先とする仲間です。

「**生命誌絵巻**」は生きものの世界がもつ「つながり」「広がり」を描いています。全ての生物が DNA を持つ細胞で出来ていることから、祖先は一つと考えられる。

「**生命誌**」とは、生きているとはどうゆうことかを知るために科学による分析を基本に、生命の長い歴史を読み解くところから始めること。

「**生命誌の階段**」とは、二重らせん階段の 1 階は地球誕生、4 階は現在を示す。生き物の多様性と共通性を体験できる。



生命誌絵巻



生命誌の階段

○脇本陣(西国街道)

「脇本陣」とは、本陣に次ぐ格式の宿として、大名や勅使、公家、幕府の要人などが利用した。大名などの利用がないときには一般客の宿泊も認められた。



脇本陣の建物で黒い窓枠や腕木と白壁との対比が美しい久保家住宅



現在も残る道端の三角空き地
(参勤交代の時に土下座する場所)

あま ○安満遺跡公園

安満遺跡は約 2,500 万年の弥生時代の環濠集落跡を含む、約 72 万㎡に及ぶ集落施設です。中心部の約 13ha が 1993(平成 5)年に国の史跡に指定された。

最初は 1928(昭和 3)年に京都大学の附属農場が開設され、約 90 年間にわたり農業研究が行われてきた。

高槻市は京大農場跡地とその北側の空間を遺跡公園として整備した。



旧京大農場建物群



白い石を敷き詰め環濠集落の境界を示す